

展示会 「ごみ処理はこれでいいのか？」

三多摩25市1町の約410万人の住民が出したごみは、自治体等のごみ焼却施設で燃やされた後、日の出の森にあるエコセメント工場に運び込まれています。このニツ塚処分場と隣の谷戸沢処分場はかつて自然が豊かな美しい森でした。水源地にある美しい森が巨大な処分場になっていった経緯と、現在の日の出処分場の問題点を展示します。日々ごみを出す私たちが考えなければならないことは何でしょうか？



処分場建設前の森のテン

【処分場を巡る年表】

- ・1984年 谷戸沢処分場埋め立て開始
- ・1995年 ニツ塚処分場の建設が始まる
- ・1998年 ニツ塚処分場一部完成 埋め立て開始
(同時に谷戸沢処分場閉鎖)
- ・2006年 エコセメント工場完成
(ニツ塚に焼却灰を埋立しなくなる)
- ・2026年 エコセメント工場大改修
一時的に埋立再開（約3ヶ月）と
灰掘起こし（約3ヶ月）



大改修が始まるエコセメント工場

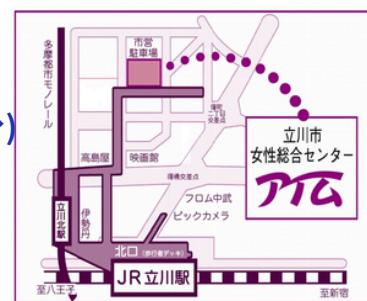
日時：2026年4月2日(木)～4月5日(日)
10:00～17:00 (最終日のみ15:00まで)

会場：立川市女性総合センター・アイム

1階ギャラリー 入場無料

(立川市曙町2丁目36-2 立川駅北口より徒歩7分)

出展者（予定）：田島征三、依田彦三郎
宮入芳雄、市川幸平、佐藤孝
たまあじさいの会、日の出の森・支える会ほか



内容：写真、映像、本、資料など

主催：日の出の森・支える会（立川市高松町2-19-1）

申込：TEL/FAX 042-523-7297 HP: <http://hinodenomori.main.jp>

メール：hinodenomori@tokyo.email.ne.jp

